

AATJ JSP SIG Newsletter: Issue no. 27, October 22, 2019

The AATJ JSP SIG Newsletter bi-annually highlights upcoming events and opportunities of interest. Notices appear under six headings:

- 1. JSP SIG Announcements**
- 2. Conferences and Workshops**
- 3. Grants and Awards Opportunities**
- 4. Other Information**
- 5. JSP Class in the Spotlight**
- 6. Member in the Spotlight (Not posted in this issue)**

If you have notices in these categories that you would like posted here, please send them to Tomoko Takami at ttakami@sas.upenn.edu. The next newsletter is scheduled to be published in February 2020. Information received by the end of January 2020 will be included in this issue.

(1) JSP SIG Announcements

I hope everyone is having a happy and productive new academic year. This issue is very special, featuring The *JSP Class in the Spotlight* written by Motoko Tabuse-sensei. Tabuse-sensei has been the leading professor teaching Business Japanese for many years. She has developed and expanded the business Japanese program at the Eastern Michigan University. In this issue, she is sharing her expertise with us.

I remember when I “met” her for the first time. When I was assigned to teach Business Japanese in 2000, I was devastated and struggled in curriculum development. In my first academic inquiry of Business Japanese instruction, I came across the paper written by Tabuse-sensei in *Global Business Languages* and learned a lot from her paper. Later, when I was able to meet her in person, she expressed that she was happy for the creation of JSP-SIG and would give her support for that. Tabuse-sensei is integral in moving the business Japanese field forward and the greatest support for JSP-SIG.

Thank you so much, Tabuse-sensei !!!!!

Tomoko Takami, JSP-SIG Chair

(2) Conferences and Workshops

The 2019 AATJ Fall CONFERENCE

2016 AATJ Fall Conference

The 2016 American Association of Teachers of Japanese (AATJ) Annual Fall Conference will be held on November 18-20 in Boston in conjunction with the American Council on the Teaching of Foreign Languages (ACTFL) Annual Convention and World Languages Expo.

The 2019 American Association of Teachers of Japanese (AATJ) Annual Fall Conference will be held in Washington, D.C on November 22-24 in conjunction with the American Council on the Teaching of Foreign Languages (ACTFL) Annual Convention and World Languages Expo. For more detailed information visit:

<https://www.aatj.org/resources/conferences/2019/fall/AATJSessionsScheduleACTFL2019.pdf>

You might be interested in the following presentation:

11/22 Friday 1:30-2:15pm

Business Japanese: A Curriculum for Foreigners Working with the Japanese

Michele Plattenberger and Akiko Kashiwagi-Wood (Oakland University)

5th ISLSP-CIBER Language Conference 2020

UNC Charlotte's Department of Languages and Culture Studies is hosting the 5th International Symposium on Language for Specific Purposes (ISLSP) and Centers for International Business Education and Research (CIBER) Business Language Conference at UNC Charlotte's Center City. Join us as we take stock and move forward within Languages for Specific Purposes exploring developments and innovation in research, practice, and curriculum.

Pre-conference workshops begin on Thursday, March 5. Concurrent sessions begin Friday morning, March 6, and conclude Saturday afternoon, March 7.

(3) Grants and Awards Opportunities (no updates)

(4) Other Information (no updates)

(5) JSP Class in the Spotlight: Motoko Tabuse –sensei

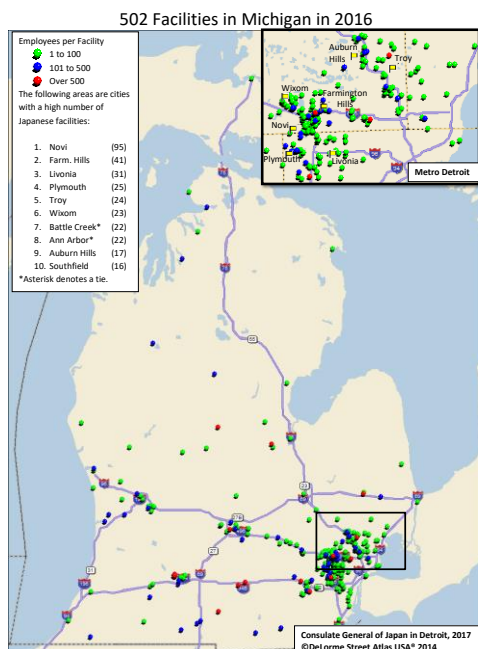
はじめに

キャリア/ビジネスの日本語を教えている先生方、こんにちは。イースタン・ミシガン大学の田伏素子です。今回は気軽にみなさんとお茶を飲みながら会話をしている様子をイメージしながら書きたいなあと、高見先生にお伝えしたところ、了解していただきました。高見先生、ありがとうございます！

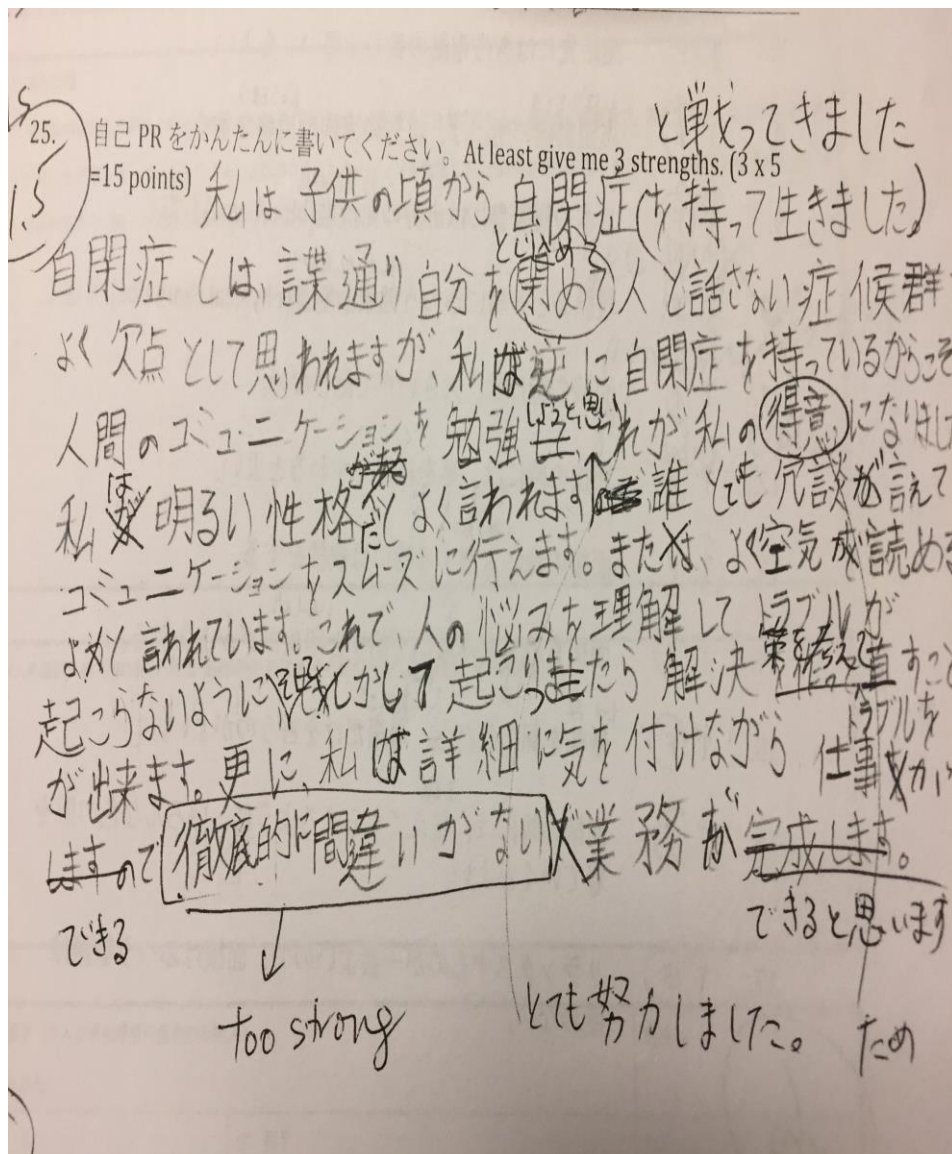
今年の夏からはバーモント州にあるミドルベリー大学の夏学校の校長も務めています。日本語の先生や友人から「8週間ずっと学生と一緒に夏のプログラムだけでも大変なのに、秋からの大学のコースはスタート地点から疲れてない？」と大変さを聞かれますが、正直、疲れていません。それは、楽しい事をしているからかな？「日々是好日」です。

イースタン・ミシガン大学 (EMU)

EMUはミシガン州にある15の州立大学の一つで南東ミシガンにあります。リサーチ大学ではなく、たくさんの学生がパートやフルタイムで仕事しながら大学に来ています。またミシガン州には500以上の日系企業(その多くが製造業)があり、その殆どが南東ミシガンに集中しているので、リクルータの方からよく連絡を頂出し、ビジネスの日本語のクラスにも来てくださいます(下記の2016年に総領事館が作ってくれたデータを参照してください)。日本語を受講している学生は高校生から社会人まで様々です。多様化する学生のニーズを反映して、日本語科では設立当初から5時半以降の夜のクラスを全てのレベルで提供しています。



もう一つは ADHD や autism の学生が増えている事です。ミシガンの教師会で定期的に会う高校の先生との連絡のおかげで、日本語を続けてくれる学生の貴重な情報が得られています。下記は high functioning autism のジョー君（仮名）が書いた自己 PR（ビジネス日本語 1 のテスト問題の一つ）です。私のコメントが邪魔なのに気づきました。(^_^;) すみません！ジョー君は予定通りに卒業し、地域の日系企業に無事に就職しました。この事例も他の同じような状況にいる学生に影響を与えていると思います。ありがたい事です。



AATJでお約束したビジネス日本語クラスのシラバス

全米の先生方から EMU のビジネス日本語コースのシラバスを送ってくださいと言うリクエストを時々頂きます。ミシガンの特殊な事情や、Core Practices などの奥の深い情報を取り入れようとしているので、躊躇していました。が、今回3つあるビジネスコースの真ん中のコース・シラバス（コメント付き）の short version を添付しました。参考にして頂けると良いかと思えます。

急速に進化するテクノロジー

この夏にミドルベリー大学でマサチューセッツ工科大学の相川孝子先生(<https://aikawa.mit.edu/>)をお迎えして、仮想現実(VR),拡張現実(AR),複合現実(MR),そして人工知能(AI)を搭載した機械翻訳のお話をさせていただきました。このお話を聞く前から Brain Machine Interface(BMI)の話は知っていましたが、(「TED Talk 2012 : ミゲル・ニコレリスの『念じるだけでロボットを操作した猿』を参照してください」)機械翻訳や複合現実の今を知ると本当に世界が急速に変わっていることがわかります。

その時につくづく感じた事—わあ、すごい！でもどうやってついて行ったらいいの？！

日本やアメリカで何が起きているの？

日本では少子化の影響で、社会が働き手不足になっていますが、それに対応するために日本企業は AI 機能のついたロボット、複合現実のとり入れや、学習できる翻訳機を積極的に導入しています。ハウステンボスのホテルで全ロボットホテル「変なホテル」ができました、変わり続ける事を前提にしたホテルでは、ロボット従業員の半数がリストラされた(2019年1月:

<https://www.gizmodo.jp/2019/01/robots-ruin-robot-hotel.html>

)ものの、半年後には多言語を話し、ダンスを踊ったり、歌を歌うエンターテインメント・ロボットのロボホンが登場し、人気を得ているようです(<https://japan.cnet.com/article/35138762/>)。私も今年東京で泊まったホテルではロボット犬が迎えてくれました。

中西部にある某製造業の会社の人から聞いた話

本社が AI 機能を搭載した「学習する翻訳機サービス」を購入したそうです。グローバルなビジネスを展開し、多言語メンバーが新商品についてアイデアを交換したり、デザインの問題点を話し合ったりする時に活躍していたのが翻訳・通訳者の方々でした。

彼らは今までと同じように、翻訳や通訳の仕事をすることはできるのでしょうか。

大学進学にかかる費用がますます高騰し、STEM 以外のコースに対してアドミニがプレッシャーをかける大学も増えているようです。将来を見据えて、テクノロジーを上手に使った日本語の授業形態を考える時期に来たのだらうと思うのは、私だけではないと思えます。



日本に住んだ経験

イースタンミシガン大学
トム・ジビスキ

はじめまして。私はトム・ジビスキと申します。私の出身はミシガンのエイドリアンです。今、大学生としてイースタンミシガン大学で勉強しています。私は五年生なので、来学期に卒業するつもりです。専攻はシミュレーション、アニメーション、ゲームというビデオゲームやアニメに関係がある専攻と日本語です。2014年から日本語を勉強しています。

イースタンミシガン大学では、日本語専攻で卒業するためには、留学をしなければいけません。そのため、今年の冬に滋賀県の彦根にあるJCMU*というプログラムを通して留学生として日本に住みました。その前にも、日本に行ったことがありましたが、その時は10日間ほどしか泊まらなかったで、日本をあまり経験できませんでした。1回目に日本に行った時は短いにもかかわらず、そのことがきっかけで日本語を勉強したくなりました。その4年後、JCMUを通して日本に帰って4ヶ月滞在して、1回目より日本の色々なことを経験しました。

日本はとてもきれいな国だと思います。日本は自然の多い国なのに、大きい街もあるわけです。その特長が混ざっていますから、私にとって、日本はとても面白い国です。日本には宗教的な場所、自然の多い場所、にぎやかな場所、色々な場所があります。その上、日本の鉄道のおかげで、どんな場所に行きたくても、行きやすいです。彦根も大好きですが、日本ではよく京都に行きました。店が多くて、面白い場所もたくさんあります。たしか、「寺町」という中通りによく行きました。

日本で一番好きなことの1つは食べ物です。日本では、どこに行ってもおいし

い食べ物があります。和食レストランでも、ファストフードでも、おいしい食べ物が見つかります。アメリカの食べ物より、日本の食べ物が好きです。食べ物に関して驚いたことの1つは、日本にあるセブンイレブンです。アメリカにあるセブンイレブンより日本にあるセブンイレブンはいろいろとおいしくて安い食べ物がいっぱいあって、すごく便利です。日本で暮らしていた間、毎日のようにセブンイレブンに行って食べ物を買いました。セブンイレブン以外に、ほかのコンビニにもよく行きました。日本のコンビニはすごく便利で、アメリカでも日本のコンビニの特長を生かす店があればいいと思います。

食べ物のほかに好きなことは、日本での買い物です。JCMUの授業の後、よく買い物に行きました。日本製のアニメやゲーム、キャラクターグッズなどが大好きなので、よく様々な街にグッズを買いに行きました。一番好きな店は「ブックオフ」という店です。本や映画、キャラクターグッズが売られている店です。日本にはブックオフがいっぱいあります。どこのブックオフに行っても、違う物が買えます。普通のアメリカにある人気店と違って、ブックオフでは古い商品が売られています。アメリカでは、古い物売る店が少なくなりました。古い商品はもって安いので、いいと思います。

日本では、ゲームセンターの多さにも驚きました。アメリカにはゲームセンターがほとんどなくなりましたが、日本ではゲームセンターをよく見かけました。日本のゲームセンターは、ゲームの種類がたくさんあります。UFOキャチャーというゲームなどのスキルゲームをはじめ、



懐かしい風景

リズムゲームや格闘ゲームなど、いろいろなゲームがあります。日本にいる間、たくさんのゲームセンターに行ってみました。一番好きなゲームは、「マイマイ」というリズムゲームです。マイマイというゲームは八つ回っているボタンを音楽に合わせて押すゲームです。ゲームセンターに行くたびに、マイマイを選びました。アメリカにこのゲームがあれば良いのによく思い出します。

JCMUのおかげで、日本を経験できました。自分の旅行以外に、私はJCMUによって日本の文化や日本語の文法をたくさん学びました。この記事を書くことさえJCMUを通して学んだ文法を使ってみました。JCMUを通して日本を経験したことを決して忘れません。日本語で上手に話せるようになって、日本に帰りたいです。

この記事を読んでいただき、ありがとうございました。それでは、次のバトンは一緒に日本に行った友人のグエニス・アンドルジアックです。

JCMU*: Japan Center for Michigan Universities (ミシガン州立大学連合日本センター)

ビジネスの日本語の2つ目のコースのシラバスです。2018年に使いました。実際はもっと長いです。

あくまでも参考にしてください。

Course Syllabi DRAFT (学生と交渉する前のシラバス)

教室やコースの情報：

Instructorsの情報、ここに役割がはっきりとわかるように書いてください。

Office: Tel: Office Hours:

Catalog Course Description for JPNE ### : ここに大学のサイトに出てくるコース内容の情報をのせる

The course aims to increase proficiency in business communication in Japanese and to develop knowledge

Further Course Description: あれば記載する。

This is the second of the three career-oriented Japanese courses and is required for Japanese Language and Culture Majors, Japanese and International Trade Majors, and Japanese Language and Culture Teaching Majors. Please Note: The classroom instruction will be conducted mainly in Japanese.

The course utilizes the thematic approach to language learning, and incorporates the World Readiness Standards (<https://www.actfl.org/publications/all/world-readiness-standards-learning-languages>) and the demand of the business sector including Michigan recruiters and Japanese American companies.....

Essential Questions: (-> ここは答えのないBIG PICTURE、しかも3つのビジネスコースに共通する軸となる考えを引き出す質問。最後のdaily scheduleにも言及)

1. How does Japanese culture influence the way Japanese people conduct business?
2. How do Japanese college students' job search practices differ from those of the United States?
3. How do Japanese business practices differ from those of the United States?

Semester General Goals:(ここに後に載せるLearning Outcomesをリストして載せる)

Students will be able to do the following in Japanese: (can-do statements)

- (1) Students can decipher and explain basic things about Japanese business documents
- (2) Students can write a short memo called 一筆箋
- (3) ~ (6) 省略します。
- (7) Students can comprehend and compare and contrast between Japanese and American college students job situations.
- (8) Students can analyze Japanese marketing characteristics and create infomercial.
- (9) も省略します。

Class Format: これも普段使っている情報を書いてください。

This course is a hybrid course where access to the EMU online course shell (i.e., Canvas) is required. (以後省略)

Proficiency goals of the course: (ここにコースが目指すProficiency goalsを書く)

The proficiency goal of this course is Intermediate-High level of proficiency using ACTFL proficiency scale. Please register at: <http://www.aatj.org/jlpt-us> and/or N2 of Japanese Language Proficiency Level. (JLPT). JLPT is a globally..... (以後省略)

Learning Materials:

教科書の名前、出版社、ISBNも記入する

Japanese Language for Business: Text (1) Lessons 4

ビジネス日本語 テキスト1 : 内定者編 ISBN4-89358-579-7

Publishers: Nihon Eizo Kyouiku Sha & Bonjin-Sha

オンライン教材リスト：動画編(もし、下記のKey Learning Objectives, Assessment, Resourceに入れるなら、まずここに書き出しておくくと便利です。Youtubeはすぐサイトが消えてしまいますよね。プラス時間があればみて欲しい

サイト情報を入れても良いと思います。)

大学生の金銭事情 ダイガク.TV

<https://www.youtube.com/watch?v=3I66jXdveaQ>

Ask Japanese どんなバイトしたことある？

<https://www.youtube.com/watch?v=JzGbvEeXXsI&t=95s>

面接の日本語 アルバイト (少し不真面目)

https://www.youtube.com/watch?v=alEru_bI9rQ

Supplementary Learning Material 補助教材

Takami, T (2014). 『中級から伸ばす：ビジネスケースで学ぶ日本語』 (Powering Up Your Japanese through Case Studies: Intermediate and Advanced Japanese). The Japan Times. ISBN: 978-4-7890-1567-7

日本企業への就職 ビジネスマナーと基本のことば ASK Publishing

その他の副教材: 授業でよく使うアプリやサイトをリストする

Rikai-chan: Add-ons for Firefox <https://addons.mozilla.org/en-US/firefox/addon/2471>

Rikai-kun: Add-ons for Chrome

<https://chrome.google.com/webstore/detail/rikaikun/jipdnfibhldikgcjhfnomkfpcebammhp?hl=en>

ここからさらに詳しい情報を知らせる。長くなるのでサンプルのみ載せます。ポイントは上記Semester General Goals:(ここに普段使っているゴールを載せる)とのalignment、つまり上記に書いたゴールをもう少し詳しく書く部分です。

Key Learning Outcomes	Assessments	Learning resources
8週間で学生に押さえて欲しい内容	左のゴールが達成できたかどうか、どのようなアセスメントを使ってはかるのか	学生が記述したアセスメントを使ってLearning outcomesを達成するにはどんな教材を使って、どのように教えれば良いのかを記述：例：教科書、オンラインサイト、ゲストスピーカー、個人発表、グループプロジェクトなど
Goal (1) Students can decipher and explain basic things about Japanese business documents	Oral assessment and written test	Japanese Language for Business: Text (1) Lessons 4 ビジネス日本語 テキスト1：内定者編 ISBN4-89358-579-7 Publishers: Nihon Eizo Kyouiku Sha & Bonjin-Sha
Goal (2) Students can write a short memo called 一筆箋	In-class activity assignment	Japanese Language for Business: Text (1) Lesson 5 ビジネス日本語 テキスト1：内定者編 ISBN4-89358-578-9
(Goal 7) Students can comprehend and compare and contrast between Japanese and American college students job situations	Individual Project Presentation and Data-Based Research Paper	大学生の金銭事情 ダイガク.TV https://www.youtube.com/watch?v=3I66jXdveaQ Ask Japanese どんなバイトしたことある？ https://www.youtube.com/watch?v=JzGbvEeXXsI&t=95s 面接の日本語 アルバイト (少し不真面目) https://www.youtube.com/watch?v=alEru_bI9rQ ●●大学の学生のインタビュー：Infographics, SNS,メールでも可 (提携大学があればその学生にも参加してもらう)
Goal (8) Students can analyze Japanese marketing characteristics and create infomercial.	Infomercial project (to be included in the student digital portfolio)	先輩が作ったCM例 You may connect this project with Lit class (文学のクラスで童話を読むのでそのクラスとコーディネート) http://www.au.kddi.com/pr/3taro/?bid=we-we-tpsd-0037

Evaluation Scheme for JPNE 446: (ここはどうすれば学生がAを取れるのかを考えながら、(1)-(6)の説明を入れまし
た。

(1)	Content Tests	30% (3 x 10% each)
(2)	Oral Assessments	21% (3 x 07% each)
(3)	Group Presentation	10% (Infomercial 10%)
(4)	Individual Presentation	15% (Oral Presentation)
(5)	In-class activities assignments	15% (一筆箋、履歴書、自己PR等)
(6)	Homework (incl.Video Guides)	09% (+ゲストが来る場合はそのreflection paper)

Description of Evaluation Scheme: ここではそれぞれのEvaluation Schemeの説明をする。

(1) **Content Tests: (30%)** There will be three content tests during this academic year. Please see the schedule to find out the exact dates of these tests.授業内容についての筆記試験:筆記試験は3つあります。

(2) **Oral assessments: (21%)** Three oral assessments will be conducted in my office. It will be either an interview or a role-play using a one-on-one format. Each student will have 5 minutes per session. For the topics, see the schedule. For detailed evaluation of the oral assessment please see the rubric. オーラルアセスメント: 今年3回オーラルのアセスメントを私のオフィスで一人ずつします。一人につき約5分のアセスメントです。内容はスケジュールに記載してあり、事前にもう少し詳しく知らせます。

(3) **Group presentation: (10%)** (A) You will create an infomercial about a product or service of your choice (must be approved by me by November 16). The infomercial must include a video portion with a jingle or a commercial song. グループ発表:(B)コマーシャル・ビデオを作ってください。時間は5分以上10分以内。コマーシャルソングも入れること。評価に関する情報は下記のrubricを参照ください。

(4) **Individual presentation: Data-based Research Presentation with analyses documents—Oral presentation part (10%):** You are to conduct a 7-minute oral presentation on your analysis of Japanese college students' jobs. Please also compare and contrast between Japanese and American college students' situations in your presentation. Your report should include data from at least 4 Japanese students and 4 American students. You can interview people directly or use SNS or use youtube footage. Please see the Individual presentation rubric for categories and points for each category. 個人の発表は日本の大学生のバイトや就職について7分間発表してもらいます。アメリカと比較もしてください。データは、少なくとも4人の日本人と4人のアメリカ人にインタビューしても良いし(SNSもOKです)、youtubeにすでにアップされている情報を使ってもいいです。評価に使うカテゴリーとそれぞれの点数に関しては個人発表のルーブリックを参照ください。

Data Analyses document – visual support of your oral presentation part (5%): With your oral presentation, please distribute the data analysis handout. It will be evaluated according to the rubric below. The format of your paper should include: Title, Abstract, Participants' information (background information of participants with names), analyses of data with charts or graphs, and conclusion. 個人発表のテキスト: 個人発表をする時にデータも出して下さい。メールをお願いします。授業の最後の日(12月11日月曜日)が締め切りです。テキストの採点には以下のルーブリックを使います。ペーパーには、タイトル、参加者のバックグラウンド情報、データ分析(表かグラフを使ってください)そして結論を入れてください。

(5) **In-Class Activities Assignments: (15%)** The in-class activities assignments include your Japanese resume using the resume form, your self-PR document, ippitsusen, etc. クラスアクティビティーの成果物は履歴書、自己PR、そして一筆箋などです。

(6) Homework (Video Guides): (9%) Submit video guide documents during class or as assignments.

Depending on the semester there might be other homework assignments. 授業中に見たビデオガイドを提出する。学期によっては他の宿題もあるかもしれません。

それぞれのEvaluation Schemeで言及したルーブリックを記載する。これは他の学生にも同じルーブリックを使って評価してもらいますが、学生の評価は甘くなりがちなので、先生の評価80%、学生の評価20%にする時もあります。

Oral Assessment Evaluation (part of the review test & group presentations) Criteria and Rubrics: Your performance will be recorded.

Categories	5 pts	4pts	3pts	2pts	1pt
タスク完成度	100%	90%	80%	70%	60%-以下
正確さ	まったく問題なし	90%問題なし	80%問題なし	70%問題なし	すべての発話に問題
発音	日本人級：すばらしい	くせはあるが、気にはならない。	発音の悪いのが目立っている	発音が悪いのが大変気になる。	全然わからなかった。
流暢さ	とても流暢	80%流暢だと言える。	70%流暢だと言える。	あまり流暢ではない。	ぜんぜん、流暢ではない。
練習成果	よく準備していた。	まあまあ準備していた。	もう少し準備してもよい。	あまり準備してなかった	ぜんぜん準備していない。
全体	とてもよかった。	よかった。	まあまあだった。	あまりよくなかった。	全然よくなかった。

最高点：30点 最低点：6点 Converted to 8% (3 lessons) and 6% (Final)

Individual Presentation Rubrics:

Categories	5 pts	4pts	3pts	2pts	1pt
リサーチ	大変よくリサーチしていた	よくリサーチしていた	リサーチしていた	あまりリサーチしていなかった	殆どリサーチしていなかった
正確さ	まったく問題なし	90%問題なし	80%問題なし	70%問題なし	すべての発話に問題
発音	日本人級：すばらしい	くせはあるが、気にはならない。	発音の悪いのが目立っている	発音が悪いのが大変気になる。	全然わからなかった。
流暢さ	とても流暢	80%流暢だと言える。	70%流暢だと言える。	あまり流暢ではない。	ぜんぜん、流暢ではない。
練習成果	よく準備していた。	まあまあ準備していた。	もう少し準備してもよい。	あまり準備してなかった	ぜんぜん準備していない。
全体	とてもよかった。	よかった。	まあまあだった。	あまりよくなかった。	全然よくなかった。

最高点：30点 最低点：6点

Individual presentation handout rubrics:

Categories	5 pts	4pts	3pts	2pts	1pt
------------	-------	------	------	------	-----

Handout のお陰で で発表が	大変よくわか った。	よくわかった。	わかった。	あまり分からな いなかった。	逆に混乱した。
表やグラ フは	大変よかった	よかった	まあまあ	あまりよくなか った	よくなかった
ポイント の分かり 易さ	よく分かっ た。	80%ぐらい分か った。	70%ぐらい分か った。	60%ぐらい分か った。	殆ど分からなか った。
全体	とてもよかつ た。	よかった。	まあまあだっ た。	あまりよくなか った。	全然よくなかつ た。

最高点：20点 最低点：4点

Group Presentation Evaluation Criteria and Rubrics: Your performance will be video-recorded.

Categories	5 pts	4 pts	3 pts	2 pts	1 pts
時間	5分以上～1 0分以内	4分 又は 15～20分	3分 又は 20分以上	2分 又は 25分以上	1分 又は 30分以上
日本語レ ベル (発音含 む)	4年生の前半 レベル	3年生の後半レ ベル	3年生の前半 レベル	2年生の後半 レベル	2年生のレベル 以下
コマーシ ャルので き	商品かサービ スを絶対買う ／使う	買って／使っ てもいい	買う／使うかも しれない	たぶん買わない ／使わない	買わない／使わ ない
Visual Aid	すばらしい	いい	まあまあ	あまりよくない	よくない
コマーシ ャルの内 容	おもしろい	いい	まあまあ	あまりおもしろ くない	おもしろくなか った
全体	すばらしい	いい	まあまあ	あまりわからな かった	全然わからなか った

最高点：30点 最低点：6点

Grade Scale:

A	92% and above	B-	80-82%	D+	67-69%
A-	89-91%	C+	77-79%	D	63-66%
B+	86-88%	C	73-76%	D-	60-62%
B	83-85%	C-	70-72%	E	59% and below

Classroom Rules: Please refrain from eating/drinking and chewing gum during class.

Appropriate posture is encouraged. Let's respect each other. 授業中の注意：授業中に物を食べたり飲んだりガムをかんだりするのはやめて下さい。正しい姿勢で仲良く授業ができるように努力しましょう。

Class Cancellation: In the event that class has to be cancelled (due to severe weather condition or emergency) that day's lesson will be taught the following date of instruction.

休校・休講について：天候によっては大学が休校になったり、授業をキャンセルする場合があります。その場合はその日のレッスンは次の授業に繰り越されます。

Letters of recommendation: If you would like me to write a letter of recommendation, please give me enough time to prepare. I may not be able to do it if the deadline is within 14 days of your request. Please also present all the necessary information (contact person, purpose, position, starting date, deadline as well as what kind of things need to be included or

emphasized, etc.) about the letter. Send your request and necessary documents via email.

推薦状の依頼：推薦状が必要な時はなるべく早く連絡して下さい。締め切りの2週間以内に連絡をもらってもできない場合があります。依頼の際には何の為の推薦状なのか、誰に書くのか、締め切りはいつか、どんな事を書いて欲しいのか等を説明し、履歴書と一緒にメールで送ってください。

以下に大学からシラバスに入れろと言われている情報があればそれを載せる

UNIVERSITY WRITING CENTER: 115 Halle Library 734-487-0694

The University Writing Center (115 Halle Library; 487-0694) offers one-to-one writing consulting for both undergraduate and graduate students. Hours are..... (以後省略)

LEARNING SCHEDULE:

ここは8週間のweekly scheduleから初めて、daily scheduleにしても良いかと思えます。上記、Learning outcomeのどれを何日使っているのか、宿題、クイズ、試験などもここにに入れて行きます。

Daily Scheduleの例です。(内容ですが、9月は教科書でビジネス文書の基本を扱い、10月はオンラインに掲載してある日本人大学生のためのアルバイト・就職活動関係の情報を勉強します。自己PRはテストの一部として書かれています。

Daily Schedule: (Tentative: subject to change. Changes will be announced during classroom and confirmed via email and e-companion.)

ビジネスコース全体のテーマ：(1)日本の文化はビジネスの文化にどのような影響を及ぼしているのか、(2)大学生の就職・アルバイトに関して日米の比較をする、(3)日米のビジネスのやり方の違いを考える

- | | |
|---------------------|---|
| 1. September 05 (W) | Orientation & 教科書L4-1コラム「仕事の進め方」稟議書「印鑑」 |
| 2. September 10 (M) | 教科書L4 ビジネス文書I--社内文書と社内文書(p.91&95)とその例 |
| 3. September 12 (W) | L4ビジネス文書の基本書式、p.104; 挨拶文p.112, 社交文書p.119 |
| 4. September 17 (M) | 教科書L5 ビジネス文書II—封筒、ハガキの書き方(pp.124-131) |
| 5. September 19 (W) | L5-ビジネス文書—筆箋、ファックス、e-mailの書き方(pp.132-143) |
| 6. September 24 (M) | L4 & L5の復習 |
| 7. September 26 (W) | オーラル：L4とL5で学んだ日本のビジネス文書の特徴と感想 |
| 8. October 01 (M) | L4 & L5筆記試験 |
| 9. October 03 (W) | 日米アルバイト比較プロジェクト：日経カレッジ・ラボビデオと説明 |
| 10. October 08 (M) | 面接&履歴書ビデオ1-3 URL is listed in the syllabus |
| 11. October 10 (W) | エントリーシート ビデオ1-3 (URL is listed in the syllabus) |
| 12. October 15 (M) | 日経カレッジ・ラボビデオ「面接・ESの都市伝説」 |
| 13. October 17 (W) | 履歴書を書き始める、エントリーシート用自己PR |
| 14. October 22 (M) | 面接&履歴書&エントリーシートReview |
| 15. October 24 (W) | オーラル：面接と自己PR |
| 16. October 29 (M) | 面接、履歴書、エントリーシート筆記試験 |
| 17. October 31 (W) | Group Presentationの説明と準備 |

以後省略

最後は個人発表とグループ発表で終わります。

JSP SIG Newsletter No. 27

Tomoko Takami, JSP SIG Chair
University of Pennsylvania
843 Williams Hall
255 S. 36th Street
Philadelphia, PA 19104-6305
Tel: 215-573-3640; Fax: 215-573-9617
E-mail: ttakami@sas.upenn.edu